

ミッションは能登の農業復興 × 農村リブート



「本気で取り組んでくれる方、待っています。」

MISSION ミッション

震災と豪雨を乗り越え、奥能登の農業・農村の再建に取り組む「奥能登営農復旧・復興センター」の一員として、地域住民に寄り添い農業の未来図について、合意形成をサポートする社会的意義のあるお仕事です。

応募資格

- 3大都市圏をはじめとする都市地域等（過疎・山村・離島・半島等に該当しない地域）に在住している方
※不明な方はお調べしますのでお問い合わせください。
- 委嘱後、生活の拠点を奥能登4市町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）のいずれかに移し、住民票を異動できる方
- 要普通免許（自家用車を準備できる方）
- 基本的なPC操作ができる方

待遇

- 報酬：月額 30.6万円～（スキル・経験に応じる）
- 形態：地域おこし協力隊（業務委託契約／原則3年間）
- 定期出勤日以外は、在宅勤務可 ● 副業可 ● 住居斡旋あり、活動経費一部支給

募集期間

令和8年 9月14日(月) ▶ 10月16日(金)

※活動の詳細や応募については、下記よりお問い合わせください。

募集定員

1名



公益財団法人
いしかわ農業総合支援機構
Ishikawa New Agriculture Total Support Organization

【お問い合わせ】

TEL：076-225-7621（平日9:00～18:00）

メール：info@inz.or.jp

●奥能登農業の現状

奥能登農業の基幹である米づくりは、水田内の栽培管理だけでなく、ため池や水路の清掃や泥上げ、農道や畦畔の草刈りなどの管理が不可欠であり、それらは集落の住民が話し合い、協力し合いながら行われています。

しかし、地震や豪雨災害により、住居や農地・農道等の生活・営農環境が大きく変化するとともに、急激な人口減少により集落機能が低下した状況にあります。

農業者が地域農業の将来に大きな不安を抱え

る中、農業者からは「行政が集落に入って、地域農業をどうしていくかの話し合いをサポートしてほ

しい」との声が多く寄せられており、センターでは、「集落の農地を今後誰が担うのか」「草刈り等の共同作業をどう維持していくのか」等の地域農業の将来像について、集落内で話し合いを行い、合意形成を図る取り組みを支援しています。



●奥能登4市町



●営農再開面積

農地や水路等の復旧や、営農再開に向けた支援等により、令和7年は、発災前の約7割となる**2,000ha(水稲1,900ha)**で営農再開



[奥能登営農復旧・復興センターの体制と役割]

奥能登営農復旧・復興センター

JAのと本店内(穴水町)

(構成) 県、JAグループ、奥能登4市町、農政局、NOSAI



地域支援
チーム

役割

- 相談対応
- 農地等の復旧
- 営農再開支援

連携

公益財団法人

いしかわ農業総合支援機構

(金沢市)

役割

- 地域おこし協力隊の募集
- 業務委託契約の事務



公益財団法人
いしかわ農業総合支援機構
Ishikawa New Agriculture Total Support Organization

【お問い合わせ】

TEL : 076-225-7621 (平日9:00~18:00)

メール : info@inz.or.jp